

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

MENU

SEARCH

INDEX

JAPANESE

BACK

NEXT

21 / 23

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 62-210150

(43)Date of publication of application : 16.09.1987

(51)Int.Cl.

B60R 7/06

(21)Application number : 61-050341

(71)Applicant : NISSAN MOTOR CO LTD

(22)Date of filing : 10.03.1986

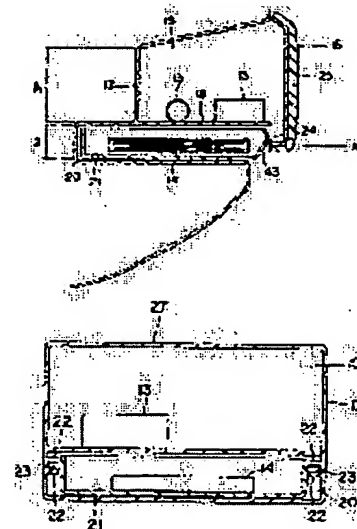
(72)Inventor : FUJITA YASUTO

(54) VEHICLE GLOVE BOX

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily and safely store a vehicle inspection sheet and the like, by providing a drawable tray in a storage section below a box body, and by mounting a lid for opening and closing the opening of the box body to the front section of a tray through the intermediary of a hinge.

CONSTITUTION: A box body 17 is divided by means of a trapezoidal cross-sectioned shape upper storage section and a rectangular cross-sectioned shape lower storage section 20 which is projected inward of an instrument panel, further than the upper storage section 19, and the depth thereof is made to be deep. Further, the width (l) of the lower storage section 20 is made to be smaller than the width l1 of the upper storage section 19. A tray 21 is inserted in the lower storage section 20 so that the tray may be longitudinally slid while a flange 21 is supported on a guide rail 22. Further, a lid 24 is rotatably attached to the front surface section 43 of the tray 21 by means of a hinge 24. Thereby it is possible to easily and safely store a vehicle inspection sheet and the like having a thin thickness and a long length in the lower storage section 20.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 昭62-210150

⑪ Int.Cl.⁴
B 60 R 7/06

識別記号 庁内整理番号
G-7443-3D

⑬ 公開 昭和62年(1987)9月16日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

⑭ 発明の名称 車両用グローブボックス

⑮ 特 願 昭61-50341

⑯ 出 願 昭61(1986)3月10日

⑰ 発 明 者 藤 田 靖 人 横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社内
⑱ 出 願 人 日産自動車株式会社 横浜市神奈川区宝町2番地
⑲ 代 理 人 弁理士 土 橋 皓

明 細 書

1. 発明の名称

車両用グローブボックス

2. 特許請求の範囲

小物を収納するボックス本体と、該ボックス本体の開口部に開閉自在に装着されたリッドとを有し、該ボックス本体が上方収納部及び下方収納部に分割された車両用グローブボックスにおいて、上記下方収納部には引き出し可能なトレイを設けると共に、該トレイの前面部にヒンジを介して上記リッドを装着したことを特徴とする車両用グローブボックス。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は車両用グローブボックスに係り、特に、小物を収納するボックス本体と、該ボックス本体の開口部に開閉自在に装着されたリッドとを有する車両用グローブボックスの改良に関する。

(従来の技術)

一般に、第8図に示すように、自動車のインス

トルメントパネル1の助手席側には、グローブボックス2が設けられ、内部に様々な小物を収納できるように構成されている。そして、このようなグローブボックスには、第9図に示すように、ボックス本体3はインストルメントパネルに固定され、該ボックス本体3の前面開口部下端にヒンジ15を介して、リッド4が装着され、該リッド4を開閉することにより、ボックス本体3内部へ、ガラスクリーナ、カメラ等の小物を収納する、いわゆるリッドタイプのグローブボックス9もあった。

(従来技術の問題点)

しかしながらこのように構成された従来の車両用グローブボックス9にあっては、第10図に示すように、ボックス本体3内部へ車検証、ロードマップ等14などの厚さは薄い深い奥行きを必要とするものを収納した場合には、車検証、ロードマップ等14の上に他の小物13を底置して収納せざるを得ず、上に載っている小物13を一度取り出した後でなければ車検証、ロードマップ等

14を取り出すことができず、きわめて煩雑である、という不具合が存していた。一方、このようないわゆるリッドタイプのグローブボックスには、第11図及び第12図に示すように、中間部に仕切板5を設けて上方収納部6と下方収納部7とに分割すると共に、該仕切板5の前端部にヒンジ8を介してリッド4を取付け、リッド4付きの上方収納部6には小物を収納する一方、下方収納部7には、車検証、ロードマップ等を押え板10により固定して収納するように構成されたものもあった(例えば、実開昭58-39345号公報参照)。

しかしながら、このようなタイプのグローブボックス11にあっては、下方収納部7の前方開口部12にはリッドが設けられておらず、車室内外から内部が望見されてしまうため、重要書類である車検証等を入れておくのには適当でない、という不具合が存していた。

そこで、本発明の技術的課題は、車検証、ロードマップ等の厚さは薄く深い奥行きを必要とする

小さく形成されている。そして、該下方収納部20の内部には、トレイ21が挿入されており、該トレイ21は第3図に示すように、ボックス本体17の内側面部において、インストルメントパネル前後方向に沿って形成された上下2本のガイドレール22に、トレイ21の側方に突出形成されたフランジ23が支持されて、トレイ21はインストルメントパネル前後方向に移動可能に配設されている。また、該トレイ21の前面部43には、ヒンジ24を介してリッド25が回動可能に取付けられている。

従って、本実施例にあっては、上方収納部19内にガラスクリーナ、カメラ等の小物13を収納すると共に下方収納部20内には車検証、ロードマップ等14などの厚さは薄く、深い奥行きを必要とするものを収納することができる。そして、上方収納部19内の小物13を取り出す場合には該リッド25をヒンジ24を中心として下方へ回動させ、上方収納部19を開放する。また、下方収納部20内の車検証等14を取り出そ

ものを容易に取り出すことができると共に収納状態を外部から望見されることのない車両用グローブボックスを提供することにある。

(上記問題点解決のための技術的手段及び作用)

かかる技術的課題を解決するため、本発明にあっては、上記下方収納部には引き出し可能なトレイを設けると共に、該トレイの前面部にヒンジを介して上記リッドを装着したものである。

(実施例)

以下、添付図面に示す実施例に基づき本発明を詳細に説明する。

第1図及び第2図に示すように、本実施例に係る車両用グローブボックス16にあっては、ボックス本体17は、仕切板18により、断面台形状の上方収納部19と断面長方形形状の下方収納部20とに分割されており、下方収納部20は上方収納部19よりもインストルメントパネル内方へ突出し、該下方収納部20は上方収納部19よりも奥行きが深く形成されている。また、下方収納部20の幅21は、上方収納部19の幅21よりも

うとする場合には、リッド25をそのまま車室内方向(第2図中矢印Aの方向)へ引き、トレイ21を引き出し、該トレイ21中から取り出すものである。従って、本実施例にあっては、車検証等14の重要書類は上記トレイ21内に収納され、該トレイ21はグローブボックス16の下方収納部20内に配設されているため、車室内外からは車検証等14は望見されることはない。また、車検証等14を取り出す際に他の小物13を先に出す必要はない。

また、第4図乃至第7図は本発明に係る第二実施例を示す。尚、前記実施例と同一部材には同一符号を付して説明を略す。本実施例に係る車両用グローブボックス26にあっては、前記実施例とは異なり、下方収納部27は上方収納部28よりも幅広に形成されており、また、第5図に示すように、下方収納部27内においてトレイ21を支持するガイドレール29は一段のものとして形成されている。さらに、本実施例にあっては、リッド30はJ字状に形成されたアーム31によりガ

イドされている。このアーム31には、端部及び中間部に夫々、下向きの突起32及び上向きの突起33が設けられている。上記下向きの突起32は上向きの突起33よりも大きく形成されており、該アーム31は、ボックス本体34の周囲に形成されたフランジ部35に設けられた略長方形の孔部36に挿通されている。そして、上記孔部36の長辺部の長さL2は上記上向きの突起33及びアーム31の幅よりも大きく形成されていると共に下向きの突起32及びアーム31の幅よりも小さく形成されている。また、該孔部36の上方には、ロック部材37が取付けられており、第6図及び第7図に示すように、該ロック部材37は操作部41とロック部42とから成っており、操作部41はフランジ部35の表面部とロック部42とは90度ずれて取付けられている。即ち、操作部41が水平状態にある場合には、ロック部42はフランジ部35の裏面において孔部36の上半部を遮る状態にある。

従って、本実施例にあっては、上方収納部

部27の収納物を取り出すことができず、内部に収納した車検証等の重要書類を容易に盗難されないように構成されている。

(発明の効果)

本発明は以上のような構成を有することから、車検証、ロードマップ等の厚さは薄い深い奥行きを必要とするものを容易に収納、取り出しができると共に収納状態を外部から望見されることがなく容易に盗難されるおそれが無い、という効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

第1図乃至第3図は本発明に係る車両用グローブボックスの一実施例を示す図であって、第1図はインストルメントパネルに嵌め込まれた状態を示す斜視図、第2図は第1図のII-II線断面図、第3図は第1図のIII-III線断面図、第4図乃至第7図は本発明に係るグローブボックスの第2実施例を示し、第4図はその斜視図、第5図は第4図のV-V線断面図、第6図は側面図であってリッドを開いた状態を示す図、第7図は下方収

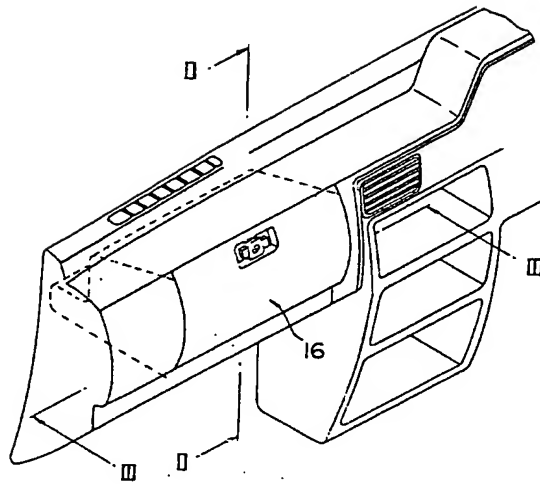
納部28内の小物を取り出そうとする場合には、上記ロック部材37の操作部41を水平状態にしてリッド30を開く。この場合、リッド30が水平位置にまで開いた場合には、アーム31に設けられた上向き突起33は上記ロック部42にぶつかり、ストッパとして機能する。従って、リッド30は水平に開いた状態で停止し、かつ、リッド30を手前に引いてもトレイ44は引き出すことはできない。この状態で上方収納部28から小物を自由に取り出すことができる。また、下方収納部27から車検証等14を取り出そうとする場合には、上記ロック部材37の操作部41を垂直状態とし、ロック部42と上向きの突起33との係合状態とを解除し、アーム31の端部に設けられた下向きの突起32が孔部36と係合するまで、リッド30をさらに手前へ引く。そうすると、下方収納部27内のトレイ⁴⁴が引き出され、内部の収納物を取り出すことができる。本実施例に係る車両用グローブボックス26にあっては、ロック部材37を操作した上でなければ下方収

納部のトレイを引き出した状態を示す図、第8図は自動車一般のインストルメントパネル及びグローブボックスを示す斜視図、第9図は従来のリッドタイプのグローブボックスを示す斜視図、第10図は第9図のX-X線断面図、第11図は従来のリッドタイプのグローブボックスであって上方収納部と下方収納部とに分かれているものを示す一部切欠斜視図、第12図は第11図のXX線断面図である。

- 16…車両用グローブボックス
- 17, 34…ボックス本体
- 19, 28…上方収納部
- 20, 27…下方収納部
- 21, 44…トレイ
- 24…ヒンジ
- 25, 30…リッド
- 43…前面部

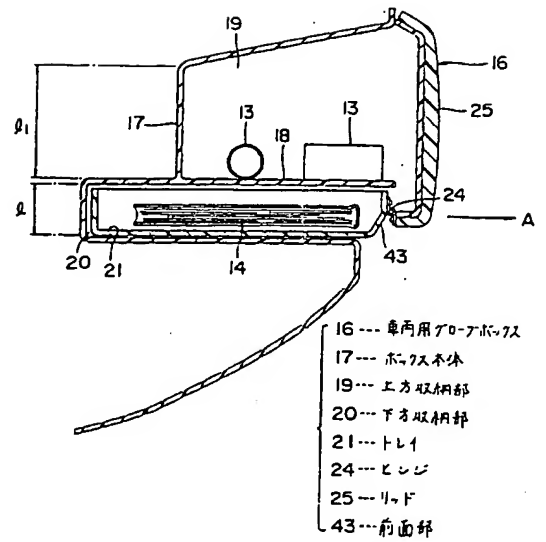
特許出願人 日産自動車株式会社
代理人 弁理士 土橋 晴

第 1 図

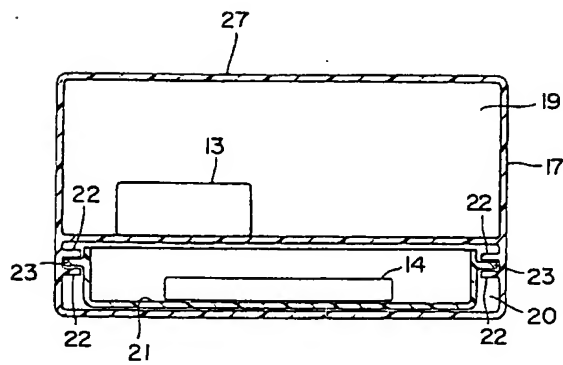


16---車内用GPSボックス

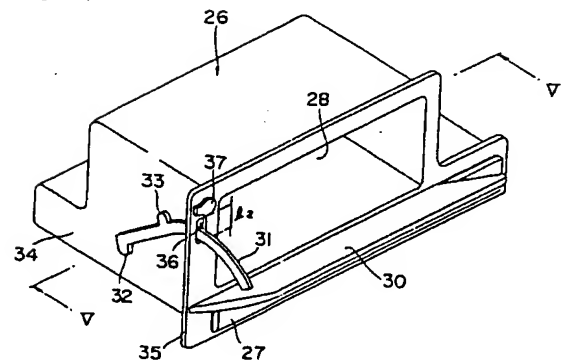
第 2 図



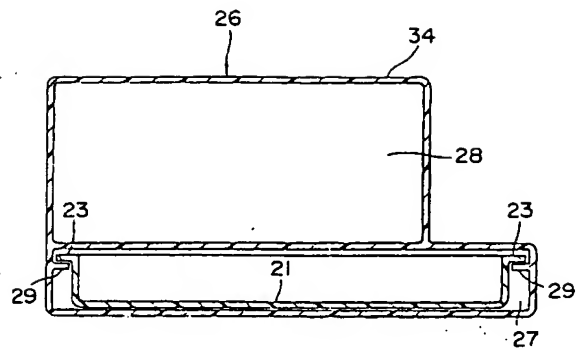
第 3 図



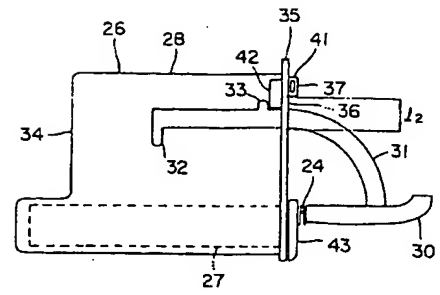
第 4 図



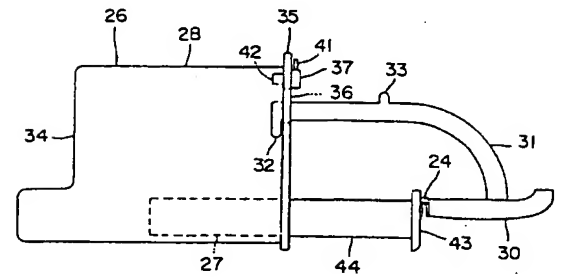
第 5 図



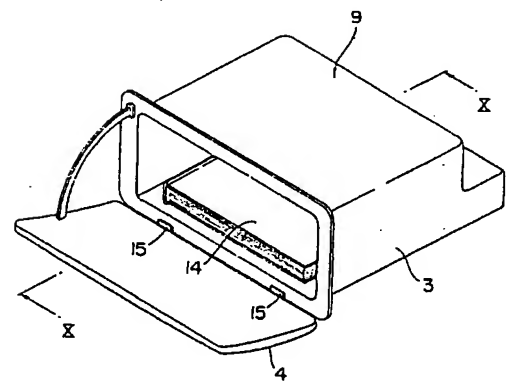
第 6 図



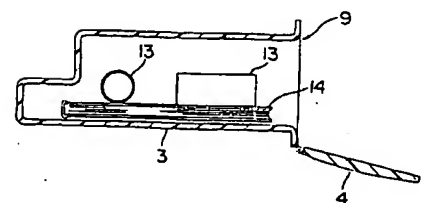
第 7 図



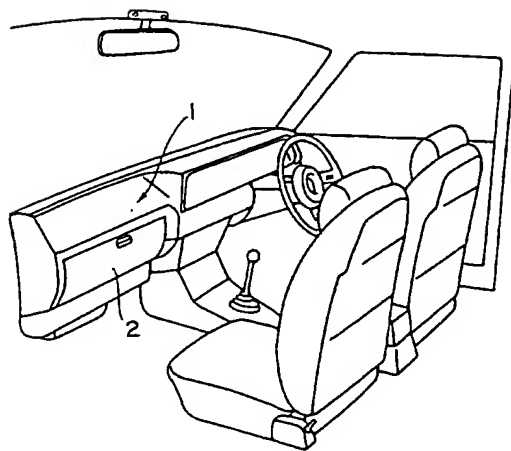
第 9 図



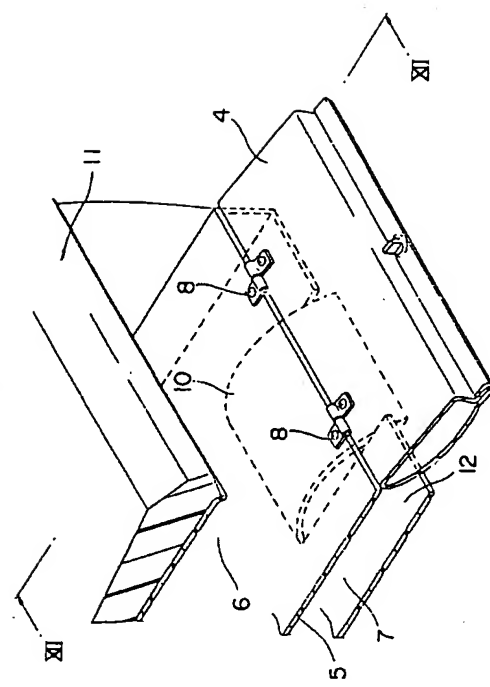
第 10 図



第 8 図



第 11 図



第 12 図

